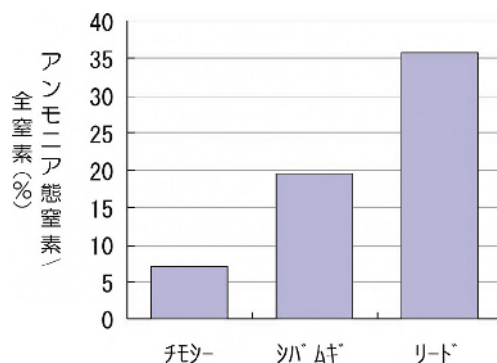


# 2 サイレージ発酵品質と植生

## (1) 草種による発酵品質の違い

- ・シバムギ、リードカナリーグラスはアンモニア態窒素/全窒素(%)が高い(図1)→発酵品質悪い

シバムギ、リードカナリーグラスの発酵品質が悪い



(H21普及センタープロジェクトより)

図1 草種別のアンモニア態窒素/全窒素

## (2) 植生別サイレージの嗜好性

- ・嗜好性を比較した結果、チモシーよりシバムギやリードカナリーグラスの嗜好性が劣った



先に発酵品質の良いチモシーサイレージに食いついた



チモシーはすぐに食べ終わったが他のサイレージは食いつきが悪い

## (3) 草種による発酵品質低下の要因

- 乳酸発酵にはグルコースが必要
- シバムギやリードカナリーグラスは、そのグルコースが少ない

シバムギ、リードカナリーグラスは、乳酸発酵に必要なグルコース含量が低く、発酵品質が低下しやすい。

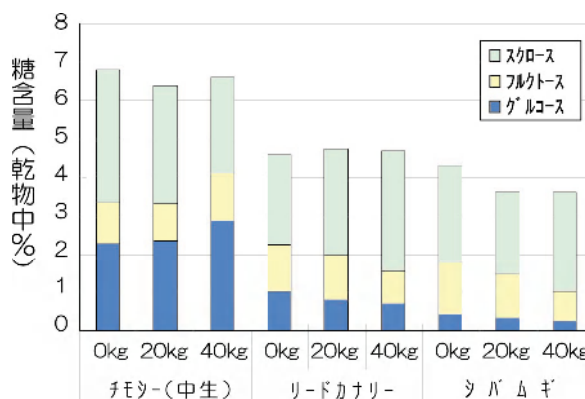


図2 化学肥料の施肥量が各草種の単少糖含量に及ぼす影響(各区とも早春にスリ4t/10aを施用、化学肥料はBBS565を施用。雪印種苗北海道研究農場より)

## (4) まとめ

シバムギ・リードカナリーグラスは発酵品質が低下しやすいので、草地の植生が悪化したほ場については雑草対策が必要です。→詳細はH20年度発行「草チェン!!」を参照